

2017年3・4月

日本共産党 (19号)

藤本みのもる 市政報告

発行人：大月市議会議員 藤本実（2期目）



内容

市の話題…1
地震対策…2
貧困対策…3
自己評価…4

半年ぶりの市政報告となりましたので、その間の市政の焦点を取り上げました。また折り返しを前に、公約実現に向けた取り組みの自己評価をまとめました。今後も市民運動との協力共同に努めます。



「新しい時代」を前に進めるために

野党と市民の共闘によって政治を動かすという、戦後かつてない新しい時代が始まっています。国民一人ひとりが個人として尊重される当たり前の政治を実現するために、市政からがんばります。

鳥沢駅トイレ設置へ合意

駅舎新築と無人駅化に伴い撤去されたトイレが、住民・利用者をはじめ、党派をこえた運動により、8月中には駅前広場に設置されることになりました。

要望署名は市長・議長によりJR支社長に提出され、私どもも登山者・団体等に訴えました。

大月短大木造新校舎竣工

いよいよ木造新校舎が竣工。大月市のシンボルとして学びと交流の場として活用されることが期待されます。



大月バイパス開通は2018年度中

都留高校南から大月インター入口までの工区工事が2年後の完成に向け進んでいます。大月市では、次に初狩バイパスの整備を国に要望しています。

バイオマス発電所 営業運転は2018年7月

公害防止協定は締結しましたが、適切な監視を続ける必要があります。林業関係者による協議会が発足し、市内の間伐材を長期的に燃料として安定供給できる体制づくりを進めています。

大月駅北側の市道整備は2019年度以降に

市は開発の大義となる「都市計画マスタープラン」を策定し、国の支援を受ける準備を2019年度までに完了させ、市道「整備事業を実施する方向で検討したい」としています。なお、市民会館入口交差点改良、道路構造等とあわせた具体的整備計画は今後決定されます。

高齢者の閉じこもり対応 地域資源マップ配布

地域での高齢者への見守りや支援の取り組みに役立つように地域資源マップ（地域の医療介護、生活支援、居場所等を掲載）が3月中に各世帯へ配布されます。

2017年 藤本みのもる公約自己評価シート

項目	自己評価				
	低	-	中	-	高
国保税1世帯1万円引き下げ	1	2	③	4	5
介護保険料、利用料を軽減	1	2	③	4	5
高校3年生まで医療費無料を	1	②	3	4	5
小中学校の全教室へエアコン設置を	1	2	3	④	5
住宅・商店リフォームへの助成制度を	1	②	3	4	5
デマンドバスの導入など、公共交通を拡充	1	②	3	4	5
国保税と介護保険は手ごたえがありますが、高3医療費無料、リフォーム助成、デマンドバス導入は、繰り返し要求してきましたが、十分な手ごたえを得られていません。引き続きがんばります。					
新たに取り組んだ課題		自己評価			
重度心身障害児医療費窓口無料化の復活	1	2	3	4	⑤
太陽光発電施設設置届出の義務化	1	2	3	4	⑤
バイオマス発電施設と公害防止協定締結	1	2	3	④	5
中小小規模企業振興条例の策定へ着手	1	2	3	④	5
将来ビジョンに上流域の社会的使命記述	1	2	3	④	5

藤本実



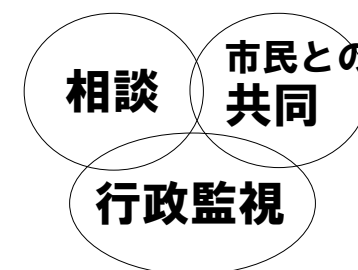
〒409-0611

大月市猿橋町小篠853

☎ 0554-56-7272 FAX兼用

minoru853@kb4.so-net.ne.jp

藤本実のポリシー



ぜひ、お話を聞かせてください

◎市政へのご意見～くらしの不满、何でも

◎願いをカタチにする努力をします